

歴史的分野

1 分野の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

歴史的な見方・考え方

- (1) 社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること。考察、構想する際の「視点や方法（考え方）」。
- (2) 歴史的な見方・考え方の具体
 - ① 時期、年代など時系列に関わる視点
 - ② 展開、変化、継続など諸事象の推移に関わる視点
 - ③ 類似、差異、特色など諸事象の比較に関わる視点
 - ④ 背景、原因、結果、影響など事象相互のつながりに関わる視点

2 改訂の要点

- (1) 歴史について考察する力や説明する力の育成の一層の重視
- (2) 歴史的分野の学習の構造化と焦点化
- (3) 我が国の歴史の背景となる世界の歴史の扱いの一層の充実
- (4) 主権者の育成という観点から、民主政治の来歴や人権思想の広がりなどについての学習の充実
- (5) 様々な伝統や文化の学習内容の充実

3 内容及び内容の取扱い

A 歴史との対話

(1) 私たちと歴史

課題を追究したり解決したりする活動を行う。

- ・ 中学校の歴史学習の導入として実施することを原則とし、小学校での学習を踏まえ、扱う内容や活動を工夫すること。
- ・ 「課題を追究したり解決したりする活動」については、内容のB以下の学習と関わらせて、歴史を追究するために、課題意識をもって学ぶことを促す適切な学習活動を設

けるような工夫をすること。

- ・ 「年代の表し方や時代区分」については、導入における学習内容を基盤にし、内容のB以下の学習と関わらせて継続的・計画的に進めること。
- ・ 「時期や年代、推移、現在の私たちとのつながり」については、内容のB以下の学習と関わらせて、事象相互の関連などにも留意し、それぞれの時代でこれらに着目して考察することが大切であることに気付かせること。

(2) 身近な地域の歴史

課題を追究したり解決したりする活動を行う。

- ・ 内容のB以下の学習と関わらせて計画的に実施し、地域の特性に応じた時代を取り上げるようにするとともに、人々の生活や生活に根ざした伝統や文化に着目した取扱いを工夫すること。その際、博物館、郷土資料館などの地域の施設の活用や地域の人々の協力も考慮すること。

B 近世までの日本とアジア

(1) 古代までの日本

課題を追究したり解決したりする活動を行う。

ア 世界の古代文明や宗教のおこり

- ・ 「世界の古代文明」については、人類の出現にも触れ、中国の文明をはじめとして諸文明の特徴を取り扱い、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などの共通する特徴に気付かせるようにすること。また、ギリシャ・ローマの文明について、政治制度など民主政治の来歴の観点から取り扱うこと。
- ・ 「宗教のおこり」については、仏教、キリスト教、イスラム教などを取り上げ、古代の文明とともに大きく捉えさせるようにすること。

イ 日本列島における国家形成

- ・ 「日本列島における国家形成」については、狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことに気付かせるようにすること。また、考古学などの成果を活用するとともに、古事記、日本書紀、風土記などにまとめられた神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせるよう留意すること。
- ・ 「大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わり」については、古墳の広まりにも触れるとともに、大陸から移住してきた人々の我が国の社会や文化に果たした役割にも気付かせるようにすること。

ウ 律令国家の形成

- ・ 「律令国家の確立に至るまでの過程」については、聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を、小学校での学習内容を活用して大きく捉えさせるようにすること。

エ 古代の文化と東アジアとの関わり

(2) 中世の日本

課題を追究したり解決したりする活動を行う。

ア 武家政治の成立とユーラシアの交流

- ・ 「ユーラシアの変化」については、モンゴル帝国の拡大によるユーラシアの結び付きについて気付かせること。

イ 武家政治の展開と東アジアの動き

- ・ 「琉球の国際的な役割」については、琉球の文化についても触れること。

ウ 民衆の成長と新たな文化の形成

- ・ 「武士や民衆などの多様な文化の形成」については、代表的な事例を取り上げてそ

の特色を捉えさせるようにすること。その際、この時代の文化の中に現在に結び付くものが見られることに気付かせるようにすること。また、禅宗の文化的な影響についても触れること。

- ・ 「応仁の乱後の社会的な変動」については、戦国の動乱も取り扱うようにすること。

(3) 近世の日本

課題を追究したり解決したりする活動を行う。

ア 世界の動きと統一事業

- ・ 「ヨーロッパ人来航の背景」については、新航路の開拓を中心に取り扱い、その背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割と世界の結び付きに気付かせること。また、宗教改革についても触れること。
- ・ 「織田・豊臣による統一事業」については、検地・刀狩などの政策を取り扱うようにすること。

イ 江戸幕府の成立と対外関係

- ・ 「鎖国などの幕府の対外政策と対外関係」については、オランダ、中国との交易のほか、朝鮮との交流や琉球の役割、北方との交易をしていたアイヌについて取り扱うようにすること。その際、アイヌの文化についても触れること。
- ・ 「幕府と藩による支配」については、その支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなどに気付かせること。

ウ 産業の発達と町人文化

- ・ 「産業や交通の発達」については、身近な地域の特徴を生かすようにすること。
- ・ 「各地方の生活文化」については、身近な地域の事例を取り上げるように配慮し、藩校や寺子屋などによる「教育の普及」や社会的な「文化の広がり」と関連させて、現在との結び付きに気付かせるようにすること。

エ 幕府政治の展開

- ・ 「幕府の政治改革」については、百姓一揆などに結び付く農村の変化や商業の発達などへの対応という観点から、代表的な事例を取り上げるようにすること。

C 近現代の日本と世界

(1) 近代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を行う。

ア 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き

- ・ 「市民革命」については、政治体制の変化や人権思想の発達や広がり、現代の政治とのつながりなどに関連付けて、アメリカの独立、フランス革命などを扱うこと。
- ・ 「アジア諸国の動き」については、欧米諸国の進出に対するアジア諸国の対応と変容という観点から、代表的な事例を取り上げるようにすること。

イ 明治維新と近代国家の形成

- ・ 「開国とその影響」については、欧米諸国のアジア進出と関連付けて取り扱うようにすること。
- ・ 「富国強兵・殖産興業政策」については、この政策の下に新政府が行った、廃藩置県、学制・兵制・税制の改革、身分制度の廃止、領土の画定などを取り扱うようにすること。その際、北方領土に触れるとともに、竹島、尖閣諸島の編入についても触れること。
- ・ 「明治維新」については、複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の努力に気付かせるようにすること。

ウ 議会政治の始まりと国際社会との関わり

- ・ 「日清・日露戦争」については、この頃の大陸との関係を踏まえて取り扱うようにすること。
- ・ 「条約改正」については、当時の国内の社会状況や国際情勢との関わりを踏まえて、欧米諸国と対等な外交関係を樹立する過程の中から代表的な事例を取り上げるようにすること。
- ・ 「立憲制の国家が成立して議会政治が始まる」については、その歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気付かせるようにすること。

エ 近代産業の発展と近代文化の形成

- ・ 「近代文化」については、伝統的な文化の上に欧米文化を受容して形成されたものであることに気付かせるようにすること。

オ 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現

- ・ 「第一次世界大戦」については、世界に戦禍が広がった背景や、日本の参戦、ロシア革命なども取り上げて、世界の動きと我が国との関連を踏まえて取り扱うようにすること。
- ・ 「我が国の国民の政治的自覚の高まり」については、大正デモクラシーの時期の政党政治の発達、民主主義的な思想の普及、社会運動の展開を取り扱うようにすること。

カ 第二次世界大戦と人類への惨禍

- ・ 国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気付かせるようにすること。

(2) 現代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を行う。

ア 日本の民主化と冷戦下の国際社会

- ・ 「我が国の民主化と再建の過程」については、国民が苦難を乗り越えて新しい日本の建設に努力したことに気付かせるようにすること。その際、男女普通選挙の確立、日本国憲法の制定などを取り扱うこと。

イ 日本の経済発展とグローバル化する世界

- ・ 沖縄返還、日中国交正常化、石油危機などの節目となる歴史に関わる事象を取り扱うようにすること。また、民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題への対応などを取り扱い、これまでの学習と関わらせて考察、構想させるようにすること。

4 評価の観点の趣旨

観点	観点の趣旨
知識・技能	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。